

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 昭和パックス株式会社

上場取引所 大

コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 弘征

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 白方 茂樹

TEL 03-3269-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,609	△1.9	162	△31.2	203	△30.9	96	△48.1
24年3月期第1四半期	4,699	0.4	236	6.7	294	11.2	186	24.9

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 106百万円 (△44.5%) 24年3月期第1四半期 191百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	10.90	—
24年3月期第1四半期	20.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	20,507	9,241	43.7	1,008.12
24年3月期	20,091	9,191	44.3	1,002.83

(参考)自己資本 25年3月期第1四半期 8,955百万円 24年3月期 8,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,800	△1.0	460	△3.8	490	△10.0	315	△9.4	35.45
通期	19,500	3.0	860	10.5	920	3.1	595	22.9	66.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	8,900,000 株	24年3月期	8,900,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	16,220 株	24年3月期	15,243 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	8,884,553 株	24年3月期1Q	8,886,273 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）における我が国経済は、1～3月期から引き続き復興事業による公的需要の拡大とエコカー補助金等の政策効果で、国内需要を中心に景気回復傾向が維持されました。一方で欧州債務危機の影響が中国・インド等の新興国の成長減速を招き、日本の輸出は伸び悩みました。

第2四半期以降も復興関連事業の発注は続き、民間需要の緩やかな拡大が続くと期待されますが、懸念されるリスクとして、エコカー補助金政策終了後の自動車販売の反動減や、電力供給制約、海外経済の更なる下振れと円高などが挙げられます。

当社グループの主要事業は産業用包装資材の製造・販売であり、出荷数量は国内生産動向の影響を受けやすい体質にあります。当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、全般的な出荷数量の前年同期比減少により、売上高は4,609百万円で前年同期に比して89百万円の減収となりました。損益につきましては、原材料の値上がり、減価償却費の増加等による原価率の上昇や販売管理費比率の上昇があり、営業利益162百万円（前年同期比73百万円の減益）、経常利益203百万円（同90百万円の減益）、四半期純利益96百万円（同89百万円の減益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の第1四半期連結累計期間の出荷数量（ゴミ袋を除く）は前年同期比△1.9%と減少しました。米麦用途は横ばい、砂糖・甘味用途等の一部分野では増加しましたが、製粉、化学薬品、合成樹脂用途が大きく減少しました。

当社の売上数量は前年同期比△3.1%であり、業界全体よりも減少幅が大きくなりました。当社のシェアが高い合成樹脂用途が落ち込んだことが響きました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は営業努力が奏功し前年同期比+9.3%となりました。タイ昭和パックス㈱の第1四半期連結累計期間（1～3月）は、前年の洪水の影響が残り売上数量は前年同期比△9.5%と減少しました。山陰製袋工業㈱の第1四半期連結累計期間（1～3月）は前年同期比で+3.5%と売上数量を伸ばしました。

当セグメントの第1四半期連結累計期間売上高は2,852百万円で、前年同期に対し3.2%の減収となりました。

②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の第1四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期から産業用、農業用とも減少しました。この間、主原材料であるポリエチレン樹脂価格が値上がりしたため、採算上も厳しくなりました。

当社の売上数量は、産業用が減少、農業用は横ばいで、合計で前年同期比△10.7%でしたが、これは主に前年あった震災後の特需がなくなったことによります。

当セグメントの第1四半期連結累計期間売上高は995百万円で、前年同期に対して4.2%の減収となりました。

③コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、第1四半期連結累計期間の海外からの輸入量が震災後の特需があった前年同期を下回り、全体の流通量は前年同期比で減少していると推測されます。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は自社製品、輸入販売品とも減少し、全体では前年同期比△16.9%となりました。大型コンテナバッグ「バルコン」も前年同期比△13.3%と数量を減らしました。

当セグメントの第1四半期連結累計期間売上高は409百万円で、前年同期に対して0.8%の減収となりました。

④不動産賃貸

賃貸用不動産及び賃貸契約内容に大きな変動はありません。当セグメントの第1四半期連結累計期間売上高は前年同期からほぼ横ばいで61百万円でした。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末総資産は20,507百万円で、前連結会計年度末に比べて416百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金363百万円、商品及び製品195百万円、有形固定資産95百万円です。主な減少要因は投資有価証券140百万円です。

(負債)

負債合計は11,265百万円で、前連結会計年度末に比べて366百万円増加しました。主な増加要因は短期借入金152百万円、主な減少要因は賞与引当金108百万円です。

(純資産)

純資産合計は9,241百万円で、前連結会計年度末に比べて49百万円増加しました。これは主に四半期純利益96百万円及び剰余金の配当53百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、全般的な出荷数量の減少により、前年同期比で減収減益の結果となりました。第2四半期以降、我が国経済は不確定要因を抱えながらも緩やかな拡大基調が続くと期待されます。当社グループは国内外の景気動向、原材料の市況動向を見据えながら、売上と利益の拡大に注力してまいります。

当連結会計年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）通期の業績見通しにつきましては、当初の予想（平成24年5月14日発表）を変更せず、連結売上高19,500百万円、連結経常利益920百万円、連結当期純利益595百万円を見込みます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に影響が及びますが、その影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,851,468	4,215,134
受取手形及び売掛金	6,022,904	5,957,205
商品及び製品	1,404,436	1,599,912
仕掛品	100,513	118,986
原材料及び貯蔵品	975,043	992,068
繰延税金資産	158,326	156,382
その他	312,039	227,787
貸倒引当金	△8,146	△4,829
流動資産合計	12,816,587	13,262,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,466,858	6,532,400
減価償却累計額	△4,309,273	△4,369,793
建物及び構築物（純額）	2,157,585	2,162,607
機械装置及び運搬具	7,805,758	7,940,794
減価償却累計額	△6,478,403	△6,600,489
機械装置及び運搬具（純額）	1,327,354	1,340,304
土地	837,653	848,364
リース資産	39,592	39,592
減価償却累計額	△7,661	△8,949
リース資産（純額）	31,930	30,643
建設仮勘定	26,585	97,869
その他	612,833	617,046
減価償却累計額	△543,204	△550,729
その他（純額）	69,629	66,316
有形固定資産合計	4,450,739	4,546,106
無形固定資産		
リース資産	2,527	2,236
ソフトウェア	33,451	31,259
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	45,209	42,725
投資その他の資産		
投資有価証券	2,411,541	2,271,435
繰延税金資産	4,451	3,776
その他	422,867	441,034
貸倒引当金	△60,243	△60,223
投資その他の資産合計	2,778,616	2,656,022
固定資産合計	7,274,565	7,244,854
資産合計	20,091,152	20,507,502

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,857,380	4,886,055
短期借入金	2,838,600	2,990,760
未払法人税等	132,365	67,478
賞与引当金	301,735	192,882
役員賞与引当金	20,786	14,634
リース債務	7,497	7,497
繰延税金負債	3,364	2,756
設備関係支払手形	7,746	16,662
その他	808,207	1,186,075
流動負債合計	8,977,684	9,364,802
固定負債		
長期借入金	770,000	803,000
退職給付引当金	162,545	170,597
役員退職慰労引当金	107,489	101,122
環境対策引当金	14,005	14,005
資産除去債務	6,963	6,963
負ののれん	170,989	156,740
リース債務	27,997	26,122
繰延税金負債	468,461	430,263
長期預り保証金	193,028	192,314
固定負債合計	1,921,478	1,901,129
負債合計	10,899,163	11,265,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	7,777,488	7,820,980
自己株式	△7,117	△7,502
株主資本合計	8,700,718	8,743,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349,920	282,128
為替換算調整勘定	△140,701	△70,069
その他の包括利益累計額合計	209,218	212,058
少数株主持分	282,052	285,686
純資産合計	9,191,989	9,241,570
負債純資産合計	20,091,152	20,507,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	4,699,038	4,609,248
売上原価	3,855,336	3,833,669
売上総利益	843,702	775,578
販売費及び一般管理費	607,132	612,788
営業利益	236,569	162,790
営業外収益		
受取利息	223	738
受取配当金	35,102	35,878
負ののれん償却額	14,249	14,249
為替差益	4,180	692
貸倒引当金戻入額	14,322	—
その他	5,121	6,579
営業外収益合計	73,199	58,137
営業外費用		
支払利息	14,415	16,534
その他	1,260	1,103
営業外費用合計	15,675	17,637
経常利益	294,092	203,289
特別利益		
固定資産売却益	12	—
特別利益合計	12	—
特別損失		
固定資産除却損	451	1,241
投資有価証券評価損	—	39,135
特別損失合計	451	40,376
税金等調整前四半期純利益	293,653	162,913
法人税、住民税及び事業税	104,699	65,840
法人税等調整額	△578	1,400
法人税等合計	104,120	67,240
少数株主損益調整前四半期純利益	189,532	95,672
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,984	△1,127
四半期純利益	186,547	96,800

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	189,532	95,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,576	△67,657
為替換算調整勘定	16,813	78,480
その他の包括利益合計	2,237	10,822
四半期包括利益	191,770	106,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,117	99,640
少数株主に係る四半期包括利益	4,652	6,853

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,947,068	1,038,942	412,401	61,932	4,460,345	238,693	4,699,038
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,947,068	1,038,942	412,401	61,932	4,460,345	238,693	4,699,038
セグメント利益又は損失(△)	231,530	93,856	△2,086	35,354	358,654	△122,085	236,569

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	358,654
「その他」の区分の利益	16,226
全社費用(注)	△138,311
連結財務諸表の営業利益	236,569

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,852,241	995,333	409,137	61,474	4,318,186	291,061	4,609,248
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,852,241	995,333	409,137	61,474	4,318,186	291,061	4,609,248
セグメント利益	149,343	64,586	76	33,673	247,680	△84,889	162,790

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	247,680
「その他」の区分の利益	21,950
全社費用（注）	△106,840
連結財務諸表の営業利益	162,790

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。